

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2026 年 36 週 (9 月 1 週 8/31~9/6)

2026 年 8 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、手足口病、腸管出血性大腸菌感染症、蚊媒介感染症

◇強化サーベイランス (アジア・アジアパラ競技大会)

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、COVID-19、マイコプラズマ感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(30)、腸管出血性大腸菌感染症(6)、A型肝炎(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)、急性脳炎(2)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(1)、梅毒(16)、播種性クリプトコックス症(1)、破傷風(2)、百日咳(2)

◇2026 年 8 月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ インフルエンザ【9月3日流行入り】(図1)

36 週の定点当たり報告数は 2.42、35 週 180 人→36 週 395 人 (2.19 倍) です。

【参考ページ】インフルエンザが流行入りしました! (愛知県、9月3日発表)

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

インフルエンザ様疾患発生報告

岡崎市: インフルエンザ、集団かぜ (インフルエンザ様疾患) の発生状況

◆ COVID-19 (図2)

36 週の定点当たり報告数は 2.76、35 週 378 人→36 週 450 人 (1.19 倍) です。

◆ RSウイルス感染症 (図3)

36 週の定点当たり報告数は 0.69、35 週 39 人→36 週 70 人 (1.79 倍) です。

◆ 手足口病

36 週の定点当たり報告数は 2.02、35 週 195 人→36 週 204 人 (1.05 倍) です。

◆ 腸管出血性大腸菌感染症

2026 年 36 週までの累積報告数(診断週集計、9月9日現在)は、146 件(O157 91 件、O26 12 件、O103 10 件、O111 7 件、O145 5 件、O121 3 件、その他 4 件、型不明 14 件)、溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は 2 件です。2025 年の 36 週までの累積報告数は 138 件、2025 年総報告数は 210 件(うち HUS 発症例 4 件)でした。

◆ 蚊媒介感染症

2026 年では 36 週 (診断週) までにデング熱 11 件 (36 週 1 件)、マラリア 3 件報告されています (全て輸入感染例)。

【参考ページ】蚊媒介感染症 (愛知県衛生研究所)

蚊媒介感染症 (厚生労働省)

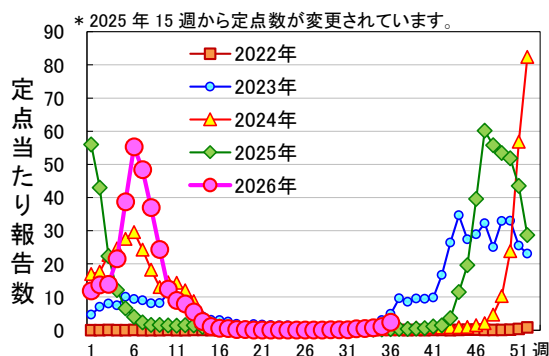


図1 インフルエンザ

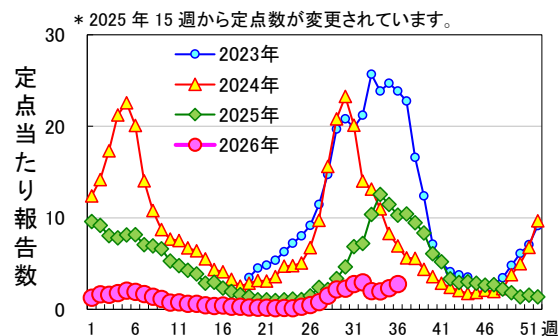


図2 COVID-19

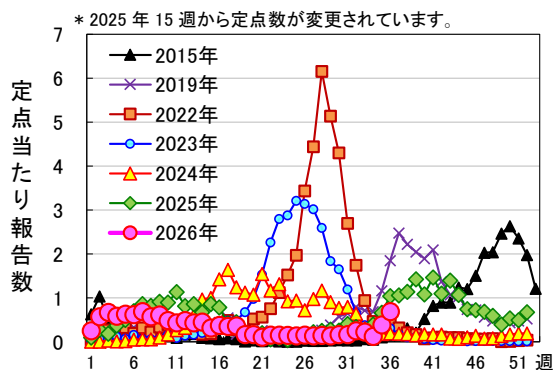


図3 RSウイルス感染症

強化サーベイランス（アジア・アジアパラ競技大会）

◆強化サーベイランスとは（実施期間：2026 年 9 月 1 日～2026 年 11 月 7 日）

第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会（以下「大会」という。）の開催前後は、国内外から多数の選手・観客が訪れ、感染症リスクが高まるおそれがあります。

そこで、世界的な流行状況、輸入例増加の可能性、感染拡大の懸念や重症度を勘案し、注意すべき感染症として 4 疾患（**麻しん**、**侵襲性髄膜炎菌感染症**、**中東呼吸器症候群（MERS）**、**腸管出血性大腸菌感染症**）を「強化サーベイランス対象疾患」に位置づけ、大会に係る情報を週報として取りまとめます。

◆強化サーベイランス対象疾患の発生状況（対象期間：9 月 1 日～9 月 6 日、2026 年 9 月 9 日現在）

(1) 麻しん

大会の選手等関係者又は来場者に関する情報はありません。

(2) 侵襲性髄膜炎菌感染症

大会の選手等関係者又は来場者に関する情報はありません。

(3) 中東呼吸器症候群（MERS）

大会の選手等関係者又は来場者に関する情報はありません。

(4) 腸管出血性大腸菌感染症

大会の選手等関係者又は来場者に関する情報はありません。

* **大会の選手等関係者**とは、選手、チームスタッフ、大会運営スタッフ、ボランティア、競技役員、その他大会の運営又は実施に直接従事する者です。**大会の来場者**とは、競技観戦、式典又は関連イベントへの参加を目的として大会会場に来場する者であって、大会の選手等関係者に該当しない者です。

病原体検出情報 —2026年疾患別ウイルス検出速報— (2026年9月1日現在)								
	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎・脳症
患者数	44(1)	23(5)	4	1	—	—	7(3)	2(1)
CV-A6	—	4	—	—	—	—	—	—
CV-B3	—	—	—	—	—	—	1	—
CV-B4	—	—	1	—	—	—	—	—
HRV	—	2	—	1	—	—	—	—
RV-A	9(1)	—	—	—	—	—	—	—
NV-GII	18(2)	—	—	—	—	—	—	—
HAdV-1	—	1(1)	—	—	—	—	—	—
HAdV-2	2(1)	—	—	1	—	—	—	—
HAdV-41	1(1)	—	—	—	—	—	—	—
HSV-1	—	—	1	—	—	—	—	—
検査中	4	16	2	—	—	—	4	1
陰性	10	—	—	—	—	—	2(1)	1

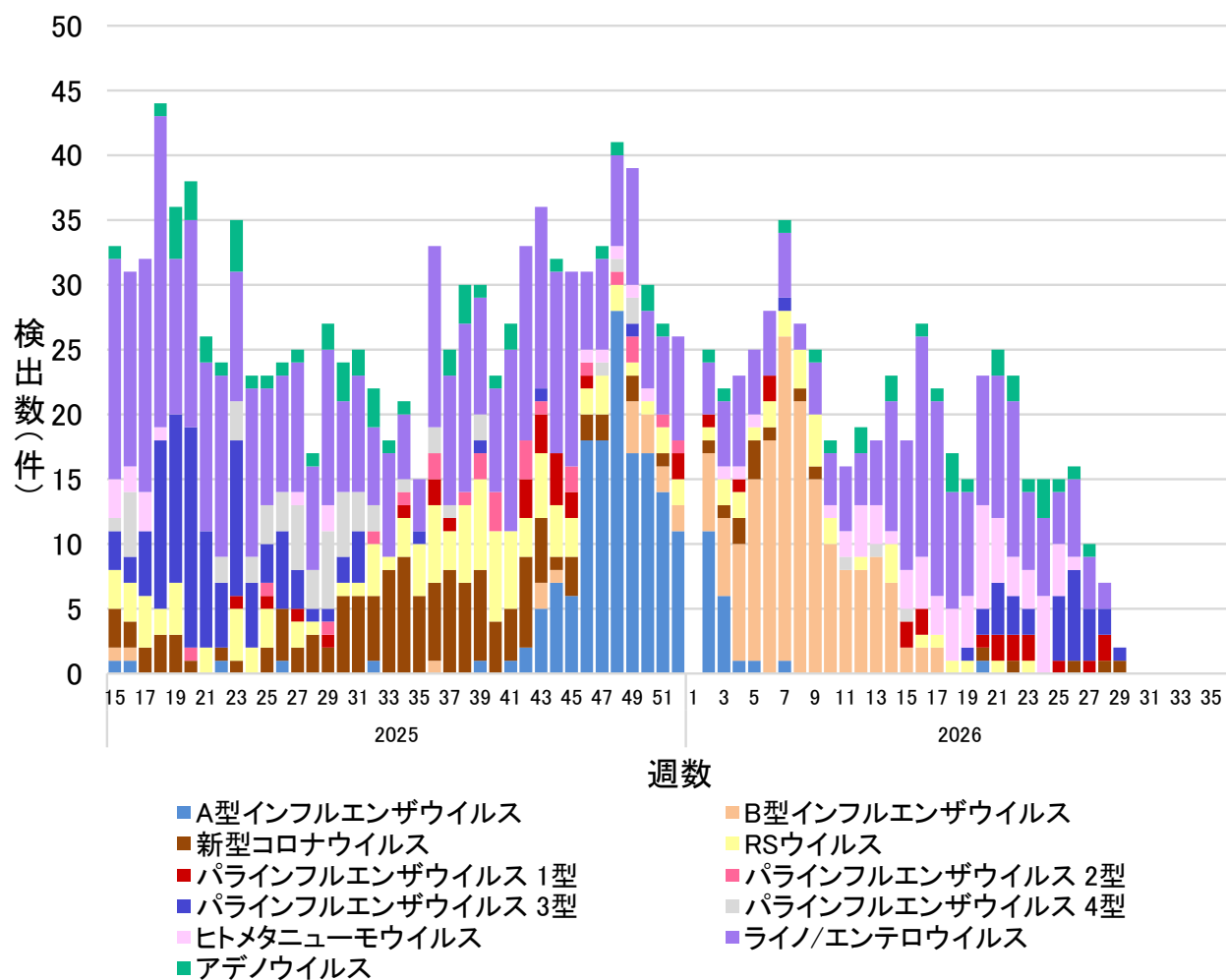
- ・ () 内の数は前回の情報からの増加分を示しています(再掲)。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。

略: ウイルス名

CV: コクサッキーウイルス、HAdV: アデノウイルス、HRV: ライノウイルス、

HSV: 単純ヘルペスウイルス、NV: ノロウイルス、RV: ロタウイルス

○ 急性呼吸器感染症（ARI）検体からのウイルス検出数（2026年9月1日現在）



- ・ 検体採取日の週でウイルス検出数を集計しています。
- ・ 集計時点における検出数であるため、過去に掲載された値とは必ずしも一致しません。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。
- ・ ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたものです。

※ 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

* 急性呼吸器感染症（ARI）検体からの病原体検出内訳(csv ファイル)は[こちら](#)からダウンロードできます。

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 落ち着いた状態が続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- RSV 5例 最近増えています。
FluA 4例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 14名、溶連菌 5名、
水痘 1名、手足口病 3名、COVID-19 2名
インフルエンザが週後半から立ち上がってきました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザ 1名
COVID-19 3名
【犬山市 くわばらクリニック】
- インフルA 2名
ヒトメタニューモ 10か月女の子 1名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザA型 3名(2名同じ保育園、
1名大学生)
その他アデノウイルス感染症等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型
【長久手市 医療法人水野内科】
- インフルエンザA型 2名
マイコプラズマ肺炎 1名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザAが増えてきました。
【豊明市 おおはしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 3例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 全てFluA
COVID-19 乳児院で集団感染 全員軽症
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 今週はインフルエンザは出ませんでした。
【春日井市 医療法人道雄会和田クリニック】
- StrepA 4歳男
手足口病 2歳男
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルエンザA 1名
【知多市 つつじが丘こどもクリニック】
- インフルエンザA 6名 内、家族内発症3名
COVID-19 1名
【東海市 こいで内科医院】
- COVID-19 15歳 2例
水痘 5歳 1例
溶連菌 2例(7歳、9歳)
突発性発疹症 1歳 1例
マイコプラズマ肺炎 15歳 1例
【大府市 みどりの森クリニック】

西三河地区

- Myco 抗原(+) 7歳男、9歳男
MycoPCR(+)変異有 13歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
 - 黄色ブドウ球菌 8M女
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
 - マイコプラズマ 6歳女 PCR+、変異なし
インフルエンザA 9歳女 東京旅行後
【豊田市 おおしま小児科アレルギー科】
 - インフルエンザA型 2件
covid19 3件
ヒトメタニューモウイルス感染症 1か月男
マイコプラズマ 7歳女 5歳男
水痘 1件
手足口病 3名
【岡崎市 花田こどもクリニック】
 - インフルエンザA型 100%
ヒトメタニューモウイルス感染症
1歳 1名、4歳 1名
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
 - インフルエンザA型 8名
マイコプラズマ 1名 7歳女
【岡崎市 いわせこどもクリニック】
 - インフルエンザA型 1人
【岡崎市 みなとクリニック】
 - インフルエンザA 1名
コロナ陽性 50歳男 1名
【岡崎市 しいの木こどもクリニック】
 - RSV、h-MPV 増加に伴い喘鳴の患児が増加
【安城市 マグマグこどもクリニック】
 - インフルA 2名
【安城市 アイエムクリニック安城】
 - インフルエンザA 1人 B 0人
【西尾市 やすい小児科】
- [8月報 STD 定点コメント]
- ヘルペス 41才
【碧南市 碧南市民病院】

東三河地区

- RSV 感染症 60歳代女
【豊橋市 いむれ内科クリニック】
- マイコプラズマ感染 13歳男 53歳女
【蒲郡市 畑川クリニック】
- [8月報 STD 定点コメント]
- マイコプラズマ尿道炎 3名
【豊橋市 古島クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）				2026 年 9 月 9 日現在		
一類～三類感染症						
＜関連リンク＞ 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun260406.pdf						
● 結核 （二類感染症）						
報告保健所	2026 年 36 週報告数			2026 年総計(1～36 週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	14	2	8	353	63	116
豊田市				29	3	9
豊橋市				30	2	11
岡崎市				19	2	5
一宮市	3			46	9	17
瀬戸	2			50	6	20
半田	1			33	4	11
春日井	3		1	41	9	13
豊川				18	4	2
津島	4		2	43	8	10
西尾				10		4
江南	1	1		29	5	10
新城				1		
知多	1		1	29	7	7
清須				16	1	3
衣浦東部	1			38	5	12
合計	30	3	12	785	128	250

● 腸管出血性大腸菌感染症 （三類感染症）							
番号	報告保健所地域	年代	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	40代	男	8/25	8/30	9/4	O157、VT1(+) VT2(+)
2	名古屋市	10代	男	8/26	8/29	9/3	O145、VT1(+)
3	名古屋市	20代	男	8/26	8/29	9/2	O血清型不明、VT1(+)
4	尾張東部	10歳未満	男	8/22	8/25	9/1	O血清型不明、VT2(+)
5	西三河	10歳未満	男	8/25	8/26	9/1	O157、VT2(+)
6	西三河	60代	男	8/26	8/27	9/1	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）						
● A型肝炎（四類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	20代	男	無	国内	
● デング熱（四類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染地域	
1	名古屋市	10代	男	デング熱	マレーシア	
● レジオネラ症（四類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染地域	
1	名古屋市	60代	女	肺炎型	国内	
2	名古屋市	70代	男	肺炎型	国内	
● カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	尾張東部	80代～	女	その他	国内	無
● 急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染地域	
1	名古屋市	10歳未満	男	ヒトパレコウイルス	国内	
2	名古屋市	10歳未満	女	エンテロウイルス	不明	
● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	40代	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	40代	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域	
1	西三河	10歳未満	女	有（追加接種有）	国内	
● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	20代	女	早期顕症	不明	国内
2	名古屋市	20代	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	20代	男	無症候	不明	不明
4	名古屋市	50代	男	無症候	性的接触	国内
5	名古屋市	30代	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	30代	男	早期顕症	性的接触	国内
7	名古屋市	20代	女	早期顕症	不明	不明
8	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
9	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
10	名古屋市	30代	男	早期顕症	性的接触	国内
11	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
12	名古屋市	30代	男	無症候	性的接触	国内
13	名古屋市	30代	女	早期顕症	性的接触	国内
14	名古屋市	20代	女	無症候	性的接触	国内
15	尾張西部	40代	女	早期顕症	性的接触	国内
16	尾張東部	60代	男	無症候	不明	不明

● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）					
番号	報告保健所地域	年代	性別	感染原因・感染経路	感染地域
1	名古屋市	80代～	女	免疫不全	国内
● 破傷風（五類感染症）					
番号	報告保健所地域	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	80代～	男	不明	国内
2	尾張西部	80代～	女	不明	国内
● 百日咳（五類感染症）					
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	10歳未満	男	無	家族内感染
2	東三河	20代	女	不明	不明

2026年8月報 (2026年9月7日現在、診断週に基づく集計)

8月の～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2025～2026年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2026年8月			2026年	<参考>2025年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	1-8月 累計	1-8月 累計 (昨年掲載値)	総計
					<愛知県全体>	<愛知県全体>	<愛知県全体>
一類 (7)	【対象となる7疾病】	0	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	47 (17)	36 (12)	83 (29)	757 (241)	594 (147)	940 (258)
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	20 (4)	18 (5)	38 (9)	140 (26)	132 (26)	210 (52)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
四類 (44)	E型肝炎	1	0	1	12	9	12
	A型肝炎	0	0	0	6	7	8
	オウム病	0	0	0	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	8	7	7
	チクングニア熱	0	0	0	0	1	2
	つつが虫病	0	0	0	0	0	7
	デング熱	3	1	4	10	2	4
	日本紅斑熱	3	0	3	14	7	16
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	2	2	3	2	2
	レジオネラ症	4	4	8	122	105	163
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1
五類 (25)	アメーバ赤痢	2	1	3	24	21	26
	ウイルス性肝炎	2	0	2	7	5	12
	内訳	B型	0	1	5	4	9
		その他	0	1	2	1	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	2	5	34	63	101
	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	0	1	2
	急性脳炎	0	1	1	17	22	36
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	2	6	8	12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	3	7	56	67	93
	後天性免疫不全症候群	0	4	4	46	36	52
	内訳	無症候性キャリア	3	3	32	19	31
		AIDS	1	1	9	14	17
		その他	0	0	5	3	4
	ジアルジア症	0	0	0	1	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	3	8	27	40	54
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	5	4	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	5	8	145	189	254
	水痘（入院例に限る。）	7	0	7	41	31	46
	多剤耐性緑膿菌感染症*	1	2	3	8	-	-
	梅毒	29	52	81	580	596	861
	内訳	無症候	11	17	144	160	235
		早期顕症	39	61	416	425	609
		晩期顕症	2	3	19	10	16
		先天梅毒	0	0	1	1	1
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	8	8	13
	破傷風	0	1	1	3	7	9
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0	0
	百日咳	3	3	6	220	2,569	3,623
	麻しん	0	0	0	28	10	18
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	1	1	1
総 計		137	140	277	2,334	4,546	6,595

* 2026年4月6日から、全数把握対象疾患に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2026年8月			2026年 1-8月 累計		＜参考＞2025年			
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		1-8月 累計 (昨年掲載値)		総計	
						合計	合計	合計	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	33	52	85	764	1,271	953	1,507	1,407	2,230
		女	37	23	60	507		554		823	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	21	26	47	434	824	518	859	766	1,306
		女	23	24	47	390		341		540	
	尖圭コンジローマ	男	7	25	32	287	348	368	439	531	648
		女	7	3	10	61		71		117	
	淋菌感染症	男	14	29	43	388	447	478	561	703	817
		女	3	2	5	59		83		114	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		61	5	66	501		559		823	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		4	0	4	21		23		34	
	薬剤耐性緑膿菌感染症*		-	-	-	1		2		2	

* 2026年4月6日から、定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更となり、その名称が「多剤耐性緑膿菌感染症」に変更されました。

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2026年8月			2026年 1-8月 累計	2025年 総計
	愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	0	13

感染症の類型及び定義(感染症法)

2026年4月6日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (50疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。 【再興型インフルエンザ又は再興型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症（政令で指定、一年限定）
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

愛知県感染症情報

愛知県衛生研究所

2026年36週(2026年8月31日～2026年9月6日)

	定点数					ARI定点			小児科定点									眼科定点		基幹定点								
	A R I	小児科	眼科	S T D	基幹	急性呼吸器感染症（A R I）	インフルエンザ （鳥インフルエンザ及び新型インフル エンザ等感染症を除く。）	C O V I D - 1 9	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く。）	（病原体がロタウイルスであるものに限り。）	感染性胃腸炎	インフルエンザによる入院患者	C O V I D - 1 9 による入院患者
愛知県 （保健所別）																												
愛知県全体	163	101	35	54	15	8,819	395	450	70	9	103	337	15	204	0	32	88	5	0	9	0	0	16	0	0	5	15	
愛知県 （名古屋市を除く）	113	70	24	39	12	6,497	275	350	60	5	88	266	13	145	0	26	61	5	0	8	0	0	6	0	0	5	13	
名古屋市	50	31	11	15	3	2,322	120	100	10	4	15	71	2	59		6	27			1			10				2	
瀬戸	9	6	2	3	1	314	19	21	10	1	3	7	2	8		3	1										1	
津島	7	4	2	2	1	399	11	11			3	25	1	13		1	6	1					2				2	
清須	7	4	2	2		595	18	11			13	23		14		2	4	1		4								
一宮市	9	5	2	3	1	507	37	25	4	1	2	12	2	4		1	3			1								
春日井	9	6	2	3	1	410	17	32	5		8	6		3			13										1	
江南	6	4	1	2		234	25	11	5		7	5	2	4		1												
半田	6	4	1	2	1	433	23	12				16		3													1	
知多	7	5	2	2		369	20	16	1		4	8	1	16		3	7	1										
岡崎市	9	5	2	4	1	505	22	41	4	1	14	55	1	13		4	6	1					1			2	3	
衣浦東部	12	8	2	4	1	600	19	42	14	2	5	33	2	16		4	11			1			2				1	
西尾	5	3	1	2	1	428	11	19	4		6	15		8		1	2	1										
豊田市	9	6	2	4	1	744	17	33	6		4	28		22		3	5						1					
豊橋市	9	5	2	4	1	554	21	39	7		13	25	1	12		2	3			2						2	3	
豊川	7	4	1	2	1	366	12	37			6	8	1	9		1											1	
新城	2	1			1	39	3																			1		

2025年4月7日からの急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの開始に伴い、愛知県の定点医療機関数が変更されました。

愛知県衛生研究所

[illegible]

愛知県衛生研究所

[illegible]